

『大分県公立学校教員育成指標』《解説》

令和5年1月 大分県教育委員会

はじめに

- 「大分県公立学校教員育成指標」は、教育公務員特例法の一部改正（H29.4.1施行）により、任命権者には「校長及び教員としての資質に関する指標」の策定が義務付けられたことから、平成29年11月に策定したものです。
- 本指標は文部科学大臣が示す「指針」を参酌して策定・改訂を行うこととされており、令和4年8月に「指針」が改正されたことから、「大分県公立学校教員育成指標」を改訂します。主な改訂内容は以下の4点です。
 - ①「特別な配慮や支援を必要とする子どもへの対応」、「ICTや情報教育データの利活用」及び「業務遂行・時間管理能力」に係る資質能力を新たに設定
 - ②「人材育成」及び「危機管理」に係る資質能力の内容を見直し
 - ③「管理職」については、「教諭等」とは別に個別の指標を策定
 - ④「管理職」の指標に「アセスメントやファシリテーションに関する力」を設定

教育公務員特例法（抜粋）

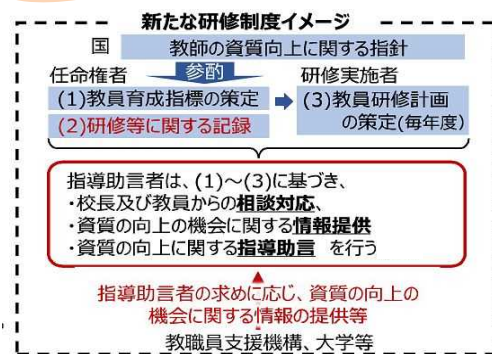
（校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針）

第二十二條の二 文部科学大臣は、公立の小学校等の校長及び教員の計画的かつ効果的な資質の向上を図るため、次条第一項に規定する指標の策定に関する指針を定めなければならない。

（校長及び教員としての資質の向上に関する指標）

第二十二條の三 公立の小学校等の校長及び教員の任命権者は、指針を参酌し、その地域の実情に応じ、当該校長及び教員の職責、経験及び適性に応じて向上を図るべき校長及び教員としての資質に関する指標（以下「指標」という。）を定めるものとする。

新たな研修制度 イメージ図



指標の見方について

- 横軸には、「キャリアステージ」を置いています。
- 「教員等」の指標には「第0ステージ」から「第3ステージ」までの4つ、「管理職」の指標には「副校長・教頭」と「校長」の2つのキャリアステージを設定しています。

キャリアステージ		資質能力			
		第0ステージ 養成期	第1ステージ 基礎形成期	第2ステージ 発展期	第3ステージ 充実深化・円熟期
縦軸には、「資質能力」の視点を置いています。この視点は、「学習指導要領」「大分県長期教育計画」「人材育成方針」及び「本県の特性や課題」等を踏まえて設定しています。	倫理観・法令遵守	高い倫理観を有するとともに、法令を遵守することの重要性を理解している。	高い倫理観に基づき、法令を遵守した教育活動の展開ができる。	高い倫理観をもって、法令を遵守した教育活動を展開することについて、実際に指導助言ができる。	
	コミュニケーション能力	状況に応じて、相手が理解できるように自分の考えを伝えたり、相手の話を丁寧に聴くことができる。	関係者との連絡調整を適切に行い、職務を円滑に遂行できる。	組織の目的や自分の意思が相手に充分伝わるよう説明ができるとともに、関係者の協力が得られるよう相手の意見も踏まえながら調整ができる。	
	使命感と熱意	教育公務員の崇高な使命を理解するとともに、自ら学び続ける意欲及び研究能力を有している。	教育公務員としての自覚をもち、組織の一員としての行動ができるとともに、専門性を高めるために自ら学び続けることができる。	教育公務員としての自覚を深めるとともに、自ら学び続け、分掌主任、学年主任等として、同僚に助言ができる。	教育公務員としての自覚を深めるとともに、自ら学び続け、学校マネジメントの中核を担う教員として、同僚に指導助言ができる。

各ステージの終了までに身に付けた資質能力を、視点ごとに目標の形で表現しています。例えば、第1ステージの各指標については、基礎形成期終了までにその資質を身に付けるという見方をします。